まち、ひと、湯前の元気と魅力を届ける［広報ゆのまえ］

yunomae 07

2016.JUL
Vol.421

「体」で作る
おいしいお米―。

町内での活動に密着
小・中学生通信

人・自然の魅力発信
湯前のよかとこ発見！

あなたの投票を待っています
7/10参議院議員選挙

【今月の表紙】
湯前小学校どろんこ遊び

クローズ・アップ
関西地区ゆのまえふるさと会

❶ふるさとというつながりで集まった会員ら❷会場には町の特産品販売コーナーも❸同級生は旅行にも行く仲❹職種、世代を超えた交流の場❺笑顔で言葉を交わす会員ら❻地元の特産品は好評につき完売❼ビンゴの景品をゲットして喜ぶ参加者

関西地区ゆのまえふるさと会

「ふるさと」がつなげてくれたキズナ―。

このまちで生まれ、このまちで育つ。たくさんの町民が暮らしてきたこの湯前を大切にしています。住んでいる人だけでなく、そこで生まれ、夢を持って外の世界へ飛び出した人にとっても「ふるさと」という存在はかけがえのないものです。皆さんは湯前をふるさととする人たちが関西や関東の地で集まっていることを知っていますか？　今回は6月に総会が開かれた関西地区の「湯前ふるさと会」に注目してみましょう。

「ふるさと」を思う気持ち

平成28年度第19回「関西地区湯前ふるさと会」の総会（蔵座益男会長）が6月18日、大阪府のホテルサンルート梅田で開かれ、関西に住んでいる湯前出身者21人と町関係者ら5人が参加し、世代を越えて交流を深めました。

ふるさと会は各地で暮らす湯前出身者が集まることでつながりをつくり、湯前の活性化に貢献できるよう平成7年につくられました。現在、関東と関西二つのふるさと会が活動をしていて、それぞれ年に一度の総会やイベントのPR、特産品・農産品などの販路拡大の支援、Uターン・Iターンの情報交換などをしています。

生まれる「つながり」

関西ふるさと会の会員は現在31人。30歳代から70歳代まで幅広い年代が集まり、交流をしています。人と人の距離が近い湯前のようなつながりができにくい都会。同じ場所で過ごした「ふるさと」という存在が、それまで知らなかった人と人をつなげ、交流を深めてたくさんの笑顔を生み出しています。

総会では蔵座会長が「地元での懐かしい思い出話をしながら、各年代の思いを交わし、湯前にいたときのようなゆっくりとした時間を過ごして日ごろの疲れを癒してほしい。帰るときにみんなが笑顔でいれれば」とあいさつ。予算や事業の審議を終えると町関係者らが1年間の町のできごとを紹介し、参加者はふるさとの写真をながめ、当時の風景と重ねていました。

会場内では観光物産協会による漬け物やお茶、シイタケ、和菓子などの地元特産品の販売があり、開始前から買い求める人もいて、総会が終わるころには完売。4月の地震で大きな被害を受けた、ふるさと熊本のために「できることをしたい」と置かれた義援金箱にもたくさんの義援金が集まりました。ふるさと納税で湯前に協力している人もたくさんいます。会員は離れた地から「ふるさと・湯前」を思い、力強く応援しています。

会　長　蔵座（ぞうざ）　益男（ますお）さん
（67＝中里1出身・兵庫県在住）

「私は設立当初から参加しています。会員には同級生が7人います。今では電話一本で集まることができる仲で、みんなで旅行にも行きます。ふるさと会の良いところは世代も職業も違う人が、ざっくばらんとした何気ない会話ができること。新しいつながりをつくることができるので若い世代にもぜひ、来てほしいですね」

事務局長　深水（ふかみ）　輝雄（てるお）さん
（44＝田上出身・奈良県在住）

「5年前からこの会に参加しています。当時の広報ゆのまえを見て、湯前の人が大阪で飲食店をやっていると知り、行ってみたことでつながりができました。ふるさと会は今、30～40歳の人もたくさんいて、とてもにぎわっていますよ」

小中学生通信

子どもたちの輝きを届けます

たくさん遊んで土をかきならした児童

「良いお米」への第一歩

湯前小5年生どろんこ遊び

湯前小学校5年生のイモ植えとどろんこ遊びが6月15日、同校グラウンド近くの水田と畑であり、23人の児童が全身泥まみれになって楽しんでいました。

良いお米を作る前準備として、楽しみながら水田の土をかきならしてほしいと行われ、球磨地域農業協同組合（JA）青壮年部の協力で毎年開かれています。組合員がサツマイモの植え方を説明し、児童は「紅はるか」の苗300本を土に植えていきました。

水着に着替えていた児童たちは水田に入ると端から端まで一直線に走りました。水しぶきを上げながら、全身泥まみれでしたが、楽しそうな笑い声が一帯に響き渡りました。児童は水田の中で鬼ごっこやかけっこなどをして元気に遊んでいました。永濵月碧くん（同校5年＝浜川）は「土の中をやわらかくするためにはたくさん体を動かさなければならないことが分かった」と話していました。

児童は22日に、土をかきならした水田で田植えを体験しました。10月には稲刈りも行われる予定です。

笑顔でどろんこまみれになる児童

県境を越えたきずなをつくる

西米良中との交歓会

第59回湯前中学校（迫田正純校長）と宮崎県西米良中学校（末吉豊文校長）の交歓会が6月2日、湯前中学校で開かれ、両校の生徒や教師約160人が授業やレクリエーションで交流を深めました。

交歓会は県境で隣り合う2町村の交流を深めるために昭和31年から始まり、毎年会場を交互に移して開催。対面式では両校の生徒代表が体育祭や文化祭などお互いの学校を紹介しました。昨年も取り組んだ合同授業では1年生が体育と音楽、2年生が数学と国語、3年生が音楽と英語を両校の教師から学んでいました。

仲良くなった生徒たちは会話をしながら給食をおいしく食べ、午後はスポーツなどの自由交流やレクリエーションで交流を深めていました。

授業での交流も笑顔が絶えない

集団生活で湯前の良さを再発見

湯前中学校集団宿泊

湯前中学校の集団宿泊が5月26日、27日に町内一帯で行われ、1年生38人がテント設営や食事作り、町内施設の見学などで湯前の魅力に触れていました。

集団宿泊は例年、町外の青少年施設で行われていましたが、生徒が湯前の良さを再発見し、空調機器やテレビのない不便な生活を楽しんで体験できるようにと、初めて町内で行われました。

生徒たちは里宮神社で文化財についての講話を受け、グリーンパレスに移動し、テント設営、夕食作り、キャンプファイヤーなどを体験しました。キャンプファイヤーでは代表4人がそれぞれ誓いの言葉を述べ、火を点灯。財部ひなきさん（同校1年＝野中田3）は「仲間の大切さ、世の中のありがたさを知った。日ごろから感謝の気持ちを大切にしたい」と話していました。

❶仮装し代表者に火を灯す生徒
❷それぞれが夢や目標を誓ったキャンプファイヤー

「いつでも遊びに来てね」

子どもと高齢者のふれあい交流

湯前小学校の「子どもと高齢者のふれあい交流」が6月22日、湯前小学校体育館で行われ、4年生29人と一人暮らしをしている70～80歳代の町民19人が一緒にゲームや昼食を楽しみ交流を深めました。

核家族化が進み、高齢者とのかかわりが減っているため、児童が高齢者とのコミュニケーションを学ぶ機会にし、高齢者も子どもたちと元気に交流してほしいと行われ、町と町社会福祉協議会が協力しています。

児童と高齢者は6つの班に分かれ、自己紹介をして、班の名前を一緒に決めました。グラウンドゴルフのパターとボールを使ったゲート通しや紙飛行機飛ばしなど4つのゲームがありました。紙飛行機飛ばしでは高齢者が児童へ紙飛行機の作り方を教えるなど、協力して優勝を目指していました。参加した椎葉桃花さん（同校4年＝下里）は「おじいちゃんおばあちゃんと一緒にゲームをして、ボールがゲートに入ったときはとてもうれしかったです。いつでも湯前小に遊びに来てください」と話し、東キヨ子さん（87＝野中田2）は「ひ孫みたいな子どもたちと楽しくゲームをさせてもらってうれしかったです。来年も参加させてもらって、優勝を目指したいと思います」と子どもたちにお礼を伝えていました。

児童と高齢者の協力で飛ばした紙飛行機

事前の備えと早めの避難で身を守りましょう

私たちの住む町にも急傾斜地や土石流などの危険カ所があります。４月に発生した熊本地震だけでなく、６月20日には九州で記録的大雨を観測。集中豪雨などにも気をつけなければなりません。

災害が迫ったとき、一番大切なのは自分の判断です。住む場所や状況など一人一人必要な行動は違います。災害が起きたあとの避難や夜中の避難は危険も生じます。テレビ、ラジオのほかにも、インターネットなどで熊本県や気象庁が発表する気象情報を確認したり、警報などを知らせるメールサービスを使ったりして情報を手に入れ、危ないと感じたら早めに避難をしましょう。

H16年の台風で崩落した国道219号線の道路

豪雨で激しくなった川の流れ（H20年６月）

湯前町全図（区割図）

1：50,000

水上村

多良木町

湯前町

宮崎県

多良木町

■地区

地区名	区割
浜川	⑤
下城	①②
古城	①②⑤
浅鹿野	①④⑤
上猪	④
中猪	①④⑤
野中田1	①②
野中田2	①②
野中田3	①②
田上	①②
上村	①②③
下村	①③
馬場	③
瀬戸口	③
上里1	①②
上里2	①②
上里3	①②
上染田	①②
下染田	①②
中里1	①②
中里2	①②
下里	①②
植木	①②

■災害対策本部

●	湯前町役場

■指定緊急避難場所及び指定避難所

No.	避難場所
○1	湯前町保健センター
○2	湯前町避難防災交流施設
○3	湯前町農村環境改善センター
○4	湯前町B&G海洋センター
○5	湯前町立湯前小学校
○6	湯前町立湯前中学校

■福祉避難所

No.	避難場所
○1	高齢者生活福祉センター湯愛
○2	特別養護老人ホーム福寿荘

■公民分館一覧

No.	避難場所	No.	避難場所
○1	浜川公民分館	○13	馬場公民分館
○2	下城公民分館	○14	山ノ口公民分館
○3	古城公民分館	○15	瀬戸口公民分館
○4	浅鹿野公民分館	○16	辻公民分館
○5	牧良公民分館	○17	上里１公民分館
○6	中猪公民分館	○18	上里２公民分館
○7	野中田１公民分館	○19	上里３公民分館
○8	野中田２公民分館	○20	上染田公民分館
○9	野中田３公民分館	○21	下染田公民分館
○10	田上公民分館	○22	中里２公民分館
○11	上村公民分館	○23	下里公民分館
○12	下村公民分館	○24	植木公民分館

■AED設置箇所一覧

施設名	個数	区割
湯前町役場	2	①②
湯前町保健センター	1	①②
湯前中央公民館	1	①②
B&G海洋センター	1	①②
湯前小学校	3	①②
湯前中学校	3	①②
湯楽里	1	①
高齢者生活福祉センター湯愛	1	①②
湯前保育園	1	①②
湯前町児童館	1	①②
特別養護老人ホーム福寿荘	1	①②
慈光第１保育所	1	①②
肥後銀行湯前支店	1	①②
そのだ医院	1	①②
向江歯科	1	①②
山崎歯科	1	①②
JA湯前店Aコープ	1	①②
ゆのまえ美空	1	①②
合計	23	23

3

■インターネットでの情報の確認はこちら

熊本県防災情報システム

気象、雨量、土砂災害の危険度、河川水位などの情報を見ることができます。

http://www.bousai.pref.kumamoto.jp

気象庁

雨雲の動きや気象情報を見ることができます。

http://www.jma.go.jp/jp/radame/

熊本県防災情報メールサービス

登録すると土砂災害警戒、地震、河川水位などの情報をメールでお知らせしてくれます。

http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/

5月20日（金）

太鼓踊りの保存継承を支援

熊本県「地域の伝統文化」助成金

（公財）明治安田生命クオリティオブライフが主催する平成28年度熊本県「地域の伝統文化」助成金目録贈呈式が5月20日、熊本市の同熊本支社で開かれ、東方組太鼓踊り保存会（藤本政幸会長）に30万円の助成金が贈呈されました。

　地域の伝統文化を保存・維持するための助成で41都道府県から140件の応募があり、うち43件（総額1850万円）が決定しました。本町での助成決定は平成25年度の市房山神宮里宮神社に次いで2団体目。

　式典では岸一樹支社長から森下一富前会長（63＝馬場）に目録が手渡されました。森下さんは「これからは、伝統を守りつつも、時代に合わせて変えるべきところは変えることも大切になってくる。助成金は破損している、かねや太鼓の修理に使いたい」と話していました。

目録を受け取る森下前会長（右）

5月26日（木）

「早く大きくなーれ」

湯前保育園でイモ植え

湯前保育園（東理絵園長）のイモ植えが5月26日に同園であり、3歳から年長児まで53人が約100本の苗を大人と一緒に植えました。園児の食育の一環として毎年行われ、園児の祖父3人が植え方を説明するなどして協力しました。今回植えられたのは「紅あずま」という品種で、果肉が黄色く、蒸したり焼いたりするとホクホクとして、甘みがあるのが特徴です。

　説明を聞いた園児たちは手に苗を持ち、畑に入ると、それぞれ大人と一緒に植えていきました。祖父たちとも話しながら笑顔を見せていました。植え終わった園児たちは「おーきくなーれっ！」と3回声をそろえて、植えたイモの成長を願いました。

　今回植えたイモは10月ごろに収穫し、給食やおやつに使われる予定です。

笑顔で植え方を教わる園児

6月2日（木）

震度4以上で自主登庁

湯前町防災会議

平成28年度湯前町防災会議と水防協議会は6月2日、湯前町保健センターで開かれ、各機関の代表者50人が防災計画書の変更点や防災の対応を確認しました。

　防災会議は毎年梅雨入り前に開かれ、町や多良木警察署、上球磨消防署、自衛隊、町消防団などの27団体が参加。ことし4月に発生した熊本地震では本町も最大震度4を観測。町の防災担当職員が「勤務時間外に震度4以上の強い地震が発生したときは職員がすぐ自主登庁する」などの地域防災計画の追加・修正を説明しました。

　各機関は災害時の連絡体制や伝達事項などを協議。多良木警察署は「日ごろの備えと声の掛け合いが大切。関係機関も連絡を取りながら情報を共有していただきたい」と説明していました。

情報交換で連携を強化した関係者ら

6月7日（火）～8日（水）

湯前で企業合宿

ローカルメディアラボ

湯前町のICT（情報通信技術）推進にかかわる企業「ローカルメディアラボ」（牛島清豪代表）が6月7、8日の2日間、本町で企業合宿を行い、施設見学や写真撮影などを行いました。

　同企業は6年前から講座やワークショップなどでまちの情報発信をサポート。湯前の総合情報サイト「ゆのまえかじり」のシステム設計やイラストなども手がけています。

　社員が現地の人や物に触れ、町を知るために、デザイナー、システムエンジニアなど4人が参加。町内施設の見学やサイトを充実させるための写真撮影などをしたりして、湯前の良さを感じていました。同社デザイナーの中村公美さん（23＝佐賀県）は「本物を見ることができたので、イラストを描くためのイメージがとても広がった」と話していました。

町内の文化施設を撮影する社員ら

6月8日（水）

体づくりから生きがいづくりへ

シニア活き活き社会参画のまちづくり

「シニア活き活き社会参画のまちづくり協議会」（鶴田正己会長）の設立総会が6月8日、湯前町役場で開かれ、各機関の代表が集まり、規約や予算、計画などを話し合いました。

　シニア世代が健康でいつづけることで生きがいをつくり、積極的に社会参加することを目指して設立され、町や住民グループ、シルバー人材センター、大学・NPO法人など9団体で構成。総会後は、シニア世代の雇用・活躍の場についてグループワークが行われ、それぞれの思いを話し合いました。

　今後は月1回ほどの会議を開き、NPO法人や大学などの専門機関と連携しながら町独自の運動プログラムの開発、その場所でのカロリー消費量が分かる「カロリーマップ」などを作る予定です。

健康と生きがいづくりへの思いを話し合う参加者

6月8日（水）

さらなるシカ被害の軽減へ

シカ被害軽減対策協定書調印

シカ被害を減らすための「シカ被害対策協定書」の調印式が6月8日、湯前町役場で開かれ、湯前町（鶴田正己町長）と熊本南部森林管理署（濱田秀一郎署長）、猟友会湯前分会（岡﨑郡太分会長）が協定書に署名しました。

　3者が協力し、協定を結んだことで、これまで有害鳥獣捕獲や狩猟期に国有林へ入林する手続きが基本的に不要になり、同管理署からシカを捕獲するための「くくりなわ」「囲いなわ」が無償で貸し出されます。県南地域を管轄する同管理署内では初の協定締結。岡﨑分会長は「これまで立ち入り禁止区域の駆除ができなかったが、協定を結んだことで効率の良い駆除ができる。狩猟者や町有林で作業する人の安全を肝に銘じて取り組んでいきたい」と話していました。

協定に署名する３者

おさる画伯とまんがば描かんね！？
『おさる画伯 まんが教室』参加者募集

湯前の「おさる画伯」こと大野慎也（しんや）さんによるまんが教室を、まんが図書館で開催します。
4コマ漫画などの簡単な漫画の描き方を体験することができます。
子どもから大人までだれでも参加できます。初めての人や興味がある人は、ぜひ参加してみませんか!?

開 催 日：平成28年７月23日（土）
場　　所：湯前まんが図書館（湯～とぴあとなり）
時　　間：１回目　午後１時00分～午後１時50分
　　　　　２回目　午後２時00分～午後２時50分

募集人数：１回目　15人　　２回目　15人
　　　　　（参加料：無料　合計：30人）
準 備 物：主催者が準備します。
応募締切：平成28年７月20日（水）
※定員になり次第締め切ります。

※応募用紙は、ふれあい交流センター『湯～とぴあ』内湯前観光物産協会と湯前町役場産業振興課にあります。

▶【お問合せ・申込先】 ふれあい交流センター『湯～とぴあ』内　湯前町観光物産協会
TEL・FAX　０９６６－４３－４１４３

ご寄付ありがとうございました

被災地支援「何かしたい」の一心で
湯前町ゴルフ協会

湯前町ゴルフ協会（竹下哲朗（てつろう）会長）は６月２日、湯前町役場を訪れ、熊本地震復興支援のために会員から募った５万5000円を鶴田正巳町長へ手渡しました。

ゴルフ協会は５月29日、熊本地震復興のためのチャリティー大会を錦町の球磨カントリー倶楽部で開催。通常のプレー代に加えて一口1000円の寄附を会員から募りました。竹下会長と会計の椎葉松男（まつお）さん（65＝下里）が主体となって呼びかけ、この日は雨にもかかわらず49人がプレー。竹下会長は「テレビニュースを見たり、現地に行ったりして、被害の大きさを感じ、何かしたいという気持ちになった。参加できなくても寄附してくれた会員もいて、全員が同じ気持ちを持っている。少しでも被災地の力になれれば」と話していました。

気持ちを行動に移し、
寄附を手渡した竹下会長（右）

地元の小学生のために
昭和８・９年同窓会

昭和８・９年生まれでつくる同窓会「破竹の会」（黒木一理（かずみち）会長）が６月１日、湯前町中央公民館を訪れ、３万５千円を湯前小学校へ寄附しました。

昭和８・９年をかけて「破竹」（八・九）の会として約60年間続いてきた会を、高齢化などの理由でことし解散し、残ったお金を寄附しました。

寄附を手渡したのは会長の黒木さんと会計の大石堅（かたし）さん（82＝瀬戸口）。会員は全国各地に50人ほどで、年に一度、町内に集まり、交流を続けていました。「寄附をするなら地元へ」との思いで、湯前小学校への寄附を決意。二人は自身の小学生時代を思い出し、当時のことを話していました。寄附を受け取った湯前小の西浦大蔵（だいぞう）校長は「何よりも寄附していただく気持ちがうれしい。大事に使わせていただきたい」と話していました。

西浦校長へ寄附を
手渡す黒木会長（右）

＜選挙管理委員会＞

▶7月10日（日）
第24回参議院議員通常選挙が行われます

仕事や、レジャーなどで投票日に投票に行けない人は期日前投票や不在者投票ができます。

当日投票

１．投票日　　**平成28年７月10日（日）**
２．投票時間　午前７時00分～午後６時00分まで
３．投票場所　第１投票所（農村環境改善センター）　第２投票所（保健センター）
　　　　　　　第３投票所（湯前保育園）　第４投票所（旧南部保育所）

期日前投票 不在者投票

１．投票期間　**～平成28年７月９日（土）**
２．投票時間　午前８時30分～午後８時00分まで
３．投票場所　湯前町保健センター機能回復訓練室

○いずれの投票にも入場券をお持ちください。
※無くしたり、投票所に持ってきていなくても投票することができます。

○平成25年7月21日に行われた前回参議選の投票率

	男	女	計
選挙当日有権者数	1,670	2,001	3,671
投票者数	1,011	1,186	2,197
棄権者数	659	815	1,474
投票率（％）	60.54	59.27	59.85

・不在者投票

男	11
女	13
合計	24

・期日前投票

男	298
女	405
合計	703

○前回参議選の球磨郡内投票率順位

順位	町村名	投票率	前回投票率	増減
1	水上村	74.96	83.19	-8.23
2	五木村	74.20	78.92	-4.72
3	山江村	69.61	90.64	-21.03
4	球磨村	68.08	77.31	-9.23
5	あさぎり町	60.68	77.05	-16.37
6	相良村	59.96	73.63	-13.67
7	湯前町	59.85	74.32	-14.47
8	錦町	58.23	71.46	-13.23
9	多良木町	55.69	71.45	-15.76

■前回の特徴

・球磨郡全体でも大幅な投票率の減少が見られた
・球磨郡の投票率の平均は61.22％で熊本県の全郡市でトップ（2位は芦北郡の60.84％）
・湯前町の投票率は球磨郡内で7番目

お問い合わせ先
湯前町選挙管理委員会　TEL0966-43-4111

読書のススメ

素敵な未来を築きたい人へ

「ないもので自分を測るのは、やめよう」「確信のないことを信じるのではなく、自分のなかの確かなものを感じよう」「まずは自分の心を穏やかにしよう。そうしないと、人との争いごとは消えない」といったメッセージの数々には、自分らしく人生を楽しむための“心の持ちよう”や“考え方”のヒントが詰まっている。読み返すごとに、自分の心のなかの気づかなかった思いを見つけるはず。

Pot with the Hole 穴のあいた桶
プレム・ラワット（著） サンクチュアリ出版

山に賭ける男たちを描いた、山岳小説の金字塔

1924年、世界初のエヴェレスト登頂を目指し、頂上付近で姿を消した登山家のジョージ・マロリー。マロリーのものと思しき古いコダックを手に入れた写真家の深町誠だが、何者かにカメラを盗まれる。行方を追ううち、深町は孤高の登山家・羽生丈二に出会う。羽生が狙うのは、エヴェレスト南西壁、前人未到の冬期無酸素単独登はんだった。

エヴェレスト 神々の山嶺
夢枕 獏（著） 角川書店

御船町をモチーフにした恐竜の絵本

自然栽培にこだわる「河内愛農園」を運営する著者オリジナルの絵本。恐竜の里として知られる地元・御船町をモチーフとした恐竜の絵本。海外の人などたくさんの人に読んでもらえるよう日本語と英語で物語の文章を表記。「やさしい気持ち」が表現された一冊。色とりどりのイラストで小さな子どもも楽しめること間違いなし！

ガオー！ガ王のキバがおれたわけ―ハナとのであい編
河地 和一（著）など トライ

痛快で新しい冒険シリーズが今始まる

老練な女用心棒バルサは、新ヨゴ皇国の二ノ妃から皇子チャグムを託される。精霊の卵を宿した息子をうとみ、父帝が差し向けてくる刺客や、異界の魔物から幼いチャグムを守るため、バルサは身体を張って戦い続ける。建国神話の秘密、先住民の伝承など文化人類学者らしい緻密な世界構築が評判を呼び、数多くの受賞歴を誇るロングセラーがついに文庫化。

精霊の守り人
上橋 菜穂子（著） 新潮社

中央公民館図書室

読書のススメ

○平日　8：30〜17：00
○土日・祭日　9：30〜17：00
※貸出期間は２週間で、一人５冊まで。

［お問い合わせ］中央公民館
TEL0966-43-2050

6月のごみ情報

お買い物には“マイバック”を！

5月末人口 4,123人

品目 (kg)	先月分	今月分	昨年の5月分	増減
燃えるごみ	59,230	70,910	48,210	+22,700↑
燃えないごみ	4,360	4,320	2,670	+1,650↑
リサイクル品	14,200	15,890	16,670	−780↓
粗大ごみ	820	790		
有害ごみ	80	20		

ECOLOG

人吉球磨地域では、地球温暖化の防止と循環型社会を目指して、私たち一人一人が身近にできる「レジ袋削減」の取り組みを広げています。行政や協力事業者と、住民など各団体が協力して平成２４年７月１日から、レジ袋を有料化しています。

レジ袋を削減すると・・・

●ごみの減量
・無駄に捨てられるごみの量を減らすことができます。

●石油資源の消費抑制
・原料になる石油の消費を減らすことができます。
※10㌘のレジ袋10枚つくるのに200㍉㍑（牛乳びん1本分）の原油を使っているのです。

●地球温暖化防止
・レジ袋を作るときに出る二酸化炭素を減らすことができます。

※協力店（６事業所）でのレジ袋売上金は、環境保全などの社会貢献活動に使われます。

※７月の不燃物収集は**6、20日**です。（第１・３水曜日）
７月18日（月）祭日は、ハッピーマンデーでいつもどおり収集します。

湯前のよか✶とこ発見！
～地域おこし協力隊です～

今月のリポーター ✶ 森田 明大（あきひろ）

水路にはかわいらしいサワガニ

「天然！ゆのまエアコンいかがですか？」～湯前の小さな発見～

町内のあちこちでカエルの姿も

先日、町内を歩いているときにふと用水路を見ると、サワガニがいました。まさか用水路にサワガニがいるとは思わず、見つけたうれしさのあまり騒ぐ私。すると、騒いだ音に驚いて逃げてしまいました。なんとか写真におさめようとカメラを構えて追いかけますが、なかなか写真を撮らせてくれません。やっと撮れたころには汗だくになっていました。少し涼もうと思い川に行くと、サワガニのほかにもカワトンボやゲンゴロウといった、水がきれいなところにしかいない生き物が！そして、川は想像以上に涼しく、感動の連続。涼みながら今まであまり見たことのない生き物と出会い、たくさんの自然を感じました。

梅雨が明けるといよいよ夏がやってきます。エアコンや扇風機ばかりではなく、きれいな水の近くで生き物を見ながら涼むのもいいですね！

今月の“ゆのまえがお” 金子 重實（しげみ）さん（77＝下染田）

お米作りに励む金子さん

「笑顔がすてき」「何かＰＲしたい」などたくさんの人を待っています！
（総務課　地域おこし協力隊まで　TEL 0966-43-4111）
◆今月のゆのまえがおは金子重實さん。

ひとこと「湯前のお米は日本で一番おいしいとの評判です。ぜひ食べてください！」

ほかにもゆのまえ情報がいっぱい！くわしくは湯前町総合情報サイト、ゆのまえかじり内の「ゆのまえがお」へアクセス！
https://www.yunomae-kaziri.com/（ゆのまえかじり　と検索してもアクセスできます）

協力隊のゆのまえ暮らし（隊員がゆる～く近況報告）

「ゆのまえ地域おこし協力隊カー、しゅつじーんっ！」

先日、私たちが活動で使う車に「ゆのまえ地域おこし協力隊」のステッカーを貼りました。よく町内を走り回っているのですが、ありふれた車のためだれにも気づいてもらえず…（笑）町民の皆さんに私たちの活動をPRできたらと思い、貼ってみました。

ステッカーは下染田区にある空き家（村枝アトリエ）でデジタル工作イベントを行うときに使っているマシンで、簡単に作れます。名前やキャラクターシールも作れるので今度デジタル工作イベントを行うときは皆さんもステッカー作りに挑戦してみませんか？（次回開催未定ですが…）これからも取材や撮影で町内を走り回っているので、協力隊カーを見かけたらぜひ声をかけてください！

この車を見かけたら声をかけてください！

―湯前町青年団だより―

がまだすっ！

団長　瀧森 道太
2016　VOL.8

青年団の話題

5月のわだい
を紹介します

5/2　球磨郡青年団協議会「はじめの一歩」

5/5　新入団員歓迎会

5/29　球青協体育祭（湯前小学校体育館）

青年団情報

NEW INFORMATION
YUNOMAE SEINENDAN

7月	**資金作り** ※大変ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします
7月17日(日)、18日(祝日)	**球青協キャンプ**
8月27日(土)、28日(日)	**球青協文化祭**

稲葉　翔太
（18＝田上）

「ことしから青年団員として湯前を盛り上げていきたいです！よろしくお願いします！」

NEWFACE!!　よろしくお願いします！

岩本　直樹（上里２）	稲葉　翔太（田上）
工藤　孝昭（中里１）	椎葉真也子（下里）
黒木あさみ（野中田１）	高木　潤人（中里２）
安井　佳奈（中猪）	山野　瑛人（中里２）

戸籍の窓

平成28年５月１日～平成28年５月31日

ご結婚おめでとう

♥ 向江　友佑（植木）
　 矢嶋　麻紀（岐阜県）

♥ 西村　祐輝（人吉市）
　 勘米良　美香（田上）

♥ 樅木　右京（あさぎり町）
　 税所　美月（中猪）

たんじょうおめでとう（うぶごえ）

（保護者名）
鶴田望乃果　浩（古城）
黒木悠理　真也（上里３）
多良木菫　勉（上里１）

ご冥福をお祈りします

椎葉　申七（野中田３）
飯田　ハツヱ（馬場）
尾方　秀信（福寿荘）

香典返し

多良木ムツメ（上村）
愛甲　忠美（馬場）

保健師だより

こんにちは、地域支え合い推進員です！

笑顔が素敵な黒木さん

「地域支え合い推進員」として、保健センターと協力し合いながら活躍している、湯前町社会福祉協議会職員の黒木真也さんをご紹介します。

地域支え合い推進員は、別名「生活支援コーディネーター」とも呼びます。
高齢者の皆さんの「〇〇を手伝ってくれる人いないかな～」、「△△があったら良いな～」などのニーズの分析と、ボランティアや民間の企業などのサービスを提供する社会資源を把握して、結びつけるのが役割です。

健康寿命を伸ばすお手伝いができるよう取り組んでいきます!!

最近では、各地区などでは利用しやすい公民分館や施設を活用してサロンや茶話会が行われるようになってきました。日ごろからの体力づくりももちろん、まずはよく人に会い、たくさん語ったり笑ったりすることがとても大切です。

いくつになっても生きがいを持って生活できるような、いろんな支援の体制をつくっていきたいと思います。

健康寿命を伸ばすことができるよう、湯前町では平成27年度に「健康増進計画」を策定しました。先月の広報と一緒にお配りしましたが見ていただけたでしょうか？

健康寿命延伸のために、この健康増進計画や地域支え合い推進員活動など、これからもドンドン情報発信していこうと思います。健康教室など、楽しく健康づくりできる機会も企画していきますので、積極的な参加をお待ちしています♪

〈湯前町保健センター　　文責　野々原〉

編集後記

editiorial note

▼全国広報コンクールの表彰式。カメラ談義に誌面の話。熱い思いを持った全国の広報担当に出会い、刺激をもらってきました。人吉球磨の合同特集も入選し、今、この地域のパワーが全国に発信されています。私たちの住んでいる湯前、そして人吉球磨の良さをこれからも発信していきたいと思います。▼梅雨に入り雨が降り続いています。私たちの地域でも大雨や土砂災害の警報が発令されるなど、危険が身近に迫っています。明るい内の避難、非常持ち出し品の準備など、早めの備えで自分の命を守りましょう。▼年齢も職業も違う人が「ふるさと」というつながりで集まることができる、ふるさと会はみんなが会話を交わし、笑顔。本当に良い場所だなぁと感じました。湯前から離れていても、湯前を思ってくださることに一町民としてうれしく思いました。私たちもその思いに負けないよう、活き活きと輝いていきたいものですね。（宏）

［今月の表紙］
湯前小学校５年生は毎年田植え前に田んぼでどろんこ遊びをします。駆け回ったり、跳ねたりと楽しそうに体を動かす児童たち。おいしいお米を育てるために、児童たちは自分の体を使って、田んぼの土をかきならしていました。

yunomae 07
Vol.421
JUL.2016
湯前町広報誌

「いただきます」のために、心を込めてー。

湯前小学校５年生の田植え体験

核家族化や個人主義が進む現代の日本の中で、

田植えを経験した子どもは何人いるだろうか？

湯前小学校で受け継がれている伝統の田植え。

自分でかきならした土、手を汚して植えた稲。

楽しみながら汗をかき、農業を体で味わった。

町の子は「いただきます」の重みを知っている。

※ご意見投稿はこちらから

活き活きと輝き、誇れるまちゆのまえ
広報ゆのまえ7月号

TEL 0966-43-4111　FAX 0966-43-3013
URL　http://www.town.yunomae.lg.jp/

発行／湯前町役場総務課　〒868-0621　熊本県球磨郡湯前町1989-1
発行日／平成28年７月１日　印刷／(有)町田印刷